

● 認知症の症状

認知症の症状は大きく「中核症状」と「行動・心理症状」の2つに分けることができます。

中核症状

治りにくい

脳の細胞が壊れ、その細胞が担っていた機能が失われることにより直接起こる症状。

記憶障害

さっき聞いたことが思い出せない
覚えていたはずの記憶が失われる

実行機能障害

前もって計画を立てることができない
家電や自販機などが使いこなせない

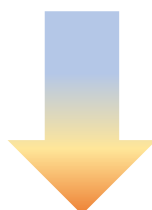
見当識障害

時間・季節・場所等が分からなくなる
道順などが分からなくなる

理解・判断力の障害

考えるスピードが遅くなる
いつもと違うことで混乱しやすくなる

理解できない行動でも
必ず理由があるから
わかって欲しい。



原因を考えて、
対応や環境を工夫する
ことが大切なんだね。

主な行動・心理症状 (BPSD)

改善できる

「中核症状」により生活上の困難にうまく適応できない場合に、本人の性格、環境、身体状況が加わって起こる症状。

幻覚（幻視・幻聴）

実在しない音や声が聞こえる幻聴や、
実在しないものが見える幻視など

妄想

ものを盗られたと訴える等、現実には
あり得ないことを真実と信じ込む

徘徊

記憶障害などの要因により歩き回る

不安・焦燥

不安になり、日常のささいなことを
心配する

うつ状態

気分が沈む
何に対しても興味を示さない

不穏・興奮

落ち着かない
イライラしやすい